



## ■ 平成27年度第3回役員会を開催

県土連の第3回役員会が1月15日に開催され、2月2日の通常総会に提出する議案などが審議されました。

開会にあたり長岡会長(出雲市長)から、「農業農村整備関係予算は、昨年末決定され、補正予算は990億円計上されたものの、圃場整備等本来の土地改良予算は370億円のみであり、また平成28年度当初予算は対前年増額要求額1000億円に対し232億円の増額となったが、内容的には『攻めの農業』を実現するための政策が中心となっている。本県では、中山間総合整備事業等の要望が多いにもかかわらず『守りの農業』に対する予算は増額されていない。そうした地域の期待に応えるためには当初予算を一刻も早く削減前の平成21年度の水準に戻すことが肝要である。県土連しても機会ある毎に県内の厳しい農業状況を伝え、国や関係機関に要望、要請を行って参りたいと考えているので今後ともご協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。



その後、長岡会長が議長となり、議事録署名人に山碕副会長(飯南町長)と長崎専務理事を選出し、議案審議に移りました。

提出された議案は、2月2日に開催される県土連第58回通常総会提出議案のほか、同日行われる土地改良功労者表彰受賞者の決定や平成27年度会計補正予算案など7議案で、それぞれについて慎重審議された結果、いずれも全会一致で承認されました。

### 【承認された提出議案】

- 第1号議案 会務報告
- 第2号議案 平成27年度会計収入支出補正予算について
- 第3号議案 第58回通常総会提出議案について
- 第4号議案 第57回(平成27年度)全国土地改良功労者表彰候補者の推薦について
- 第5号議案 平成27年度島根県土地改良事業団体連合会土地改良功労者表彰について
- 第6号議案 諸規程の改正について
- 第7号議案 職員の募集について

■ 平成27年度第3回役員会	1
■ 第2回監事会・定期監査	2
■ 島根県農業集落排水事業担当者会議	2
■ 現地調査システム・中山間地域等直接支払実績報告書作成システムのご紹介	3
■ 島根ふるさとフェア2016	4
■ 今月の予定	4

## ■ 第2回監事会・定期監査を開催

1月15日、役員会に先立ち、本会役員室において、勝部代表監事（出雲市斐川土地改良区理事長）、秋田監事（邑智郡石見土地改良区理事長）、村尾監事（奥出雲町土地改良区理事長）出席の下、監事会・監査が実施されました。

本会規約では「監事会は、少なくとも毎事業年度2回開催する・・・」とされており、今回は第2回目となるもので、本年度上半期の事業や予算の執行状況などについて監査が行われました。

はじめに監事会が開催され、勝部代表監事が「本日は上半期の事業、予算等の執行状況について監査する。本会の今年度の職員数は31名と減少傾向であるが、会員などへの技術支援が今後とも継続されるよう技術の継承に努めていただきたい。」と挨拶。これに対し長崎専務理事は「限られた人員ではあるが、会員への支援は本会の使命であり今後も技術力の向上・継承と適正な職員数の確保に努めていきたい」と述ました。その後、白築事務局次長が第1回の監事会・監査以降の諸行事等の会務報告を行いました。また、来年度の監事会・監査日程について協議が行われ、今年度と同時期に開催することが決定しました。

午後は監査が行われ、受託業務の契約状況、事業計画や予算の執行状況などについて関係諸帳簿の検査や事務局からの聞き取りなどが行われた結果、いずれも適正に処理されていることが確認されました。



## ■ 島根県農業集落排水事業担当者会議

1月27日午後、本会大会議室において、平成27年度島根県農業集落排水事業担当者会議が、島根県農林水産部農村整備課の主催で開催されました。当日は大雪の影響による水道管漏水・断水対応のため市町の担当者の欠席がありましたが、活発な議論がなされました。

最初に、主催者を代表して農村整備課農村基盤グループの田原グループリーダーから、最近の農業集落排水事業の状況や機能診断及び機能強化対策への取組みについての報告を交えた挨拶があり、担当の長江主任の進行で会議が進められました。

最初の議題である「農業集落排水事業（機能強化対策）に向けて」では、本会の岡リーダーが機能強化対策に向けての問題点・注意点を説明しました。続いて農村整備課用地管理グループの大石主任から「農業集落排水施設を公共下水道に接続する場合の取扱いについて」、長江主任からは「機能診断と最適整備構想策定について」説明がありました。



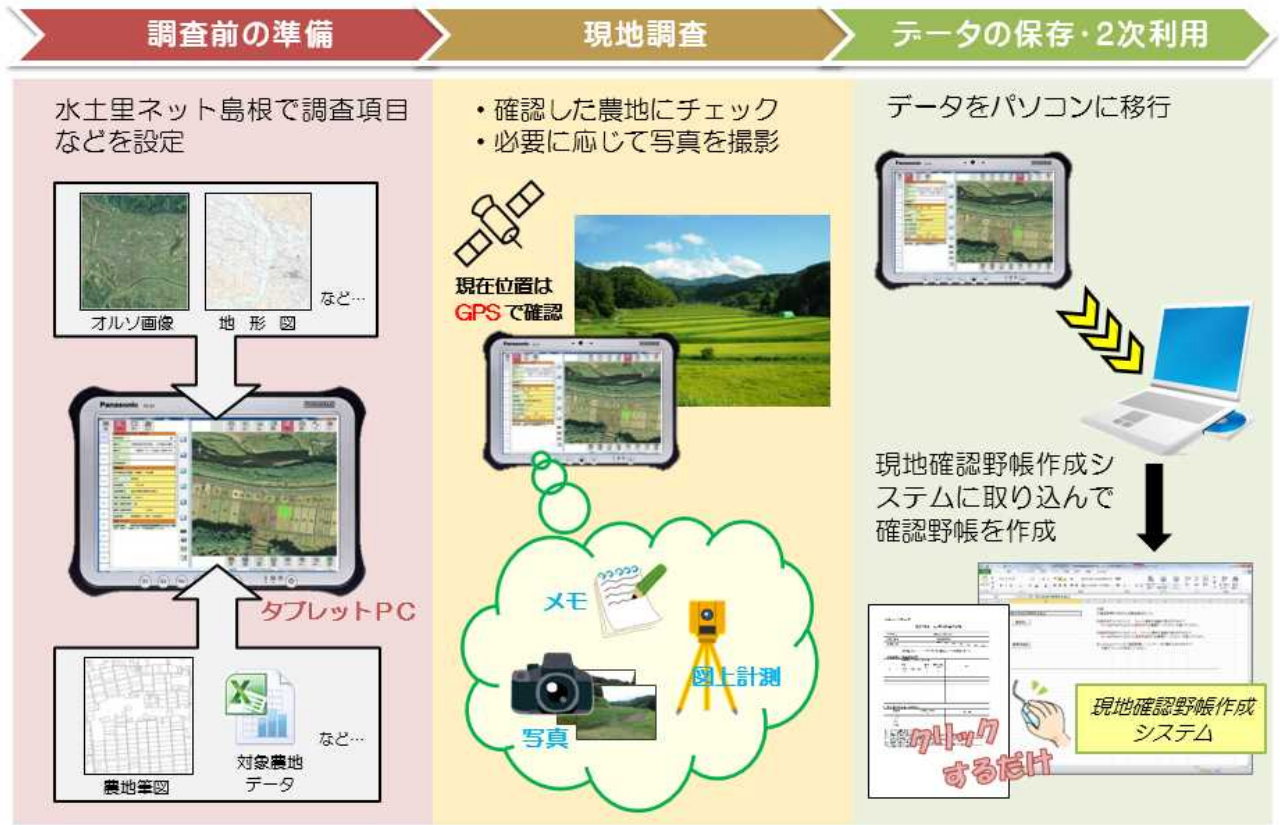
その後、平成25年度まで4割が実施されている機能診断を、平成32年度までに10割実施するとの国土強靱化計画について、また、機能診断を実施した地区をどのように機能強化対策とするのか等活発な議論がなされました。

本会では、平成21年度から農業集落排水施設の機能診断業務を行っており、引き続き機能診断・最適整備構想策定及び機能強化対策の事業計画書作成等の業務支援を行います。

## ■ 水土里情報システムを活用した現地調査システムのご紹介

### 現地での作業をタブレットPC1つで効率化

水土里ネット島根では、現地調査ソフトウェア『出簡調(でかちょう)2』(株式会社マップコン)を利用した多面的機能支払交付金制度や中山間地域等直接支払制度の現地調査システムを提供しています。

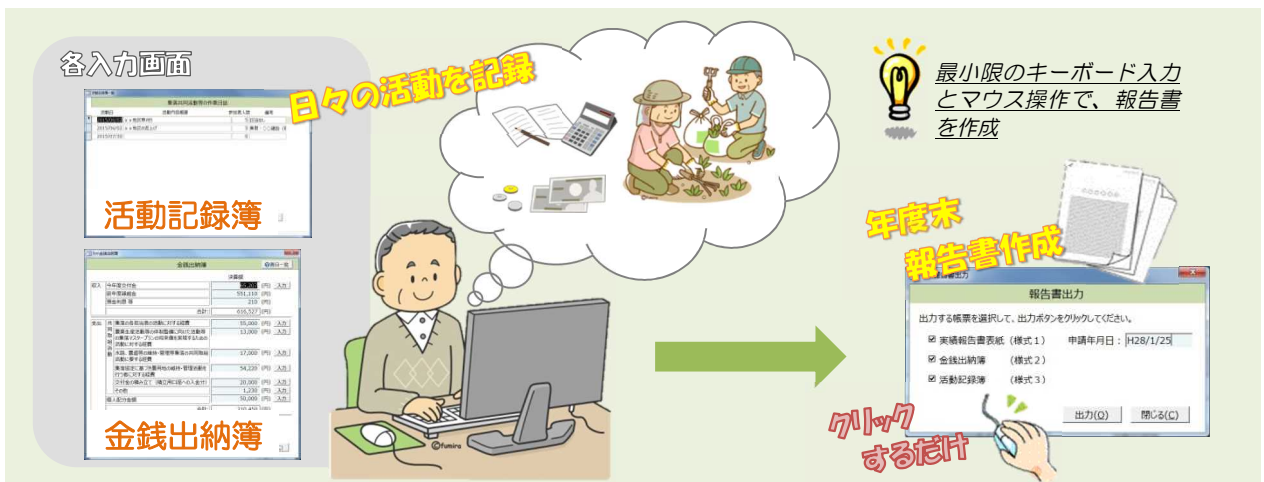


『出簡調(でかちょう)2』は様々な用途に応用可能です。

たとえば農業用施設の老朽調査、災害時の被災箇所の確認、耕作放棄地利用状況調査 etc.

## ■ 中山間地域等直接支払実績報告書作成システムのご紹介

水土里ネット島根では、中山間地域等直接支払制度に取り組まれる皆さまを対象に、実施状況報告書を誰でも簡単に作成できるシステムをリリースしました。



詳細は「水土里推進グループ水土里情報センター」までお問い合わせ下さい



## ■ 島根ふるさとフェア2016

島根の観光や食をPRする「島根ふるさとフェア2016」が1月23・24日、広島市の県立総合体育館をメイン会場として開催され、記録的な大寒波の中でしたが、約11万2千人の来場者で賑わいました

第19回目となる今回のテーマは「伝える。ご縁の国しまねの本物」で、会場では県内市町村の特産品の販売や神楽、民謡などが披露されました。また、屋外会場「あつあつ屋台村」には84店が出店し、温かい島根の食材で来場者をもてなしました。

本会も島根県農村整備課や邑南町(羽須美)、浜田市(室谷)の「しまねの棚田ネットワーク」会員とともに参加し、棚田米のすくい取りや販売、農村景観フォトコンテストの入賞作品展示などを行って島根県の農村地域の魅力を発信しました。フォトコンテストの作品展示ブースでは多くの来場者が足を止め、中には「この写真の撮影地へ行きたいけど場所はどの辺なのか」などスタッフに質問する見学者もあり興味深く見入っていました。



しまねの棚田ブースでの米掬いの様子

## ■ 今月の主な予定

開催日	内 容	開催地
2月 2日 (火)	島根県土連第58回通常総会・平成27年度土地改良功労者表彰式	県土連
2月 2日 (火)	島根県農地・水・環境保全協議会平成27年度第2回理事会・総会	県土連
2月 2日 (火)	島根県農業農村整備推進協議会総会	県土連
2月 2日 (火)	農業農村の振興施策に関する説明会・意見交換会	県土連
2月 4日 (木)	平成27年度多面的機能支払中国四国シンポジウムin愛の国えひめ	松山市
2月 8日 (月)	農政新時代キャラバン 島根県説明会	出雲市
2月 9日 (火)	隠岐の島町内土地改良区合併推進協議会	隠岐の島町
2月16日 (火)	平成27年度「災害復旧技術向上のための講習」	県土連
2月25日 (木)	第19回しまねの農村景観フォトコンテスト審査委員会	県土連



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
 ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メール[smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)